

カーボンニュートラル への取組み

脱炭素、カーボンニュートラルへの動きが世界的に進む中、安川グループもCO₂排出量削減に力を入れています。当社グループの環境経営は、当社のオペレーションにおける環境負荷の低減を主旨とした「グリーンプロセス」と、当社製品を通じた世界中のお客さまの環境負荷低減への貢献を主旨とする「グリーンプロダクツ」の両輪で推進しています。特に気候変動問題への取組みがグローバルでの喫緊の課題であることを認識し、2025年に当社製品によるCO₂排出削減貢献量を当社グループによるCO₂排出量の100倍以上とする目標「CCE100^{※1}」を独自に設定し、環境経営を推進しています。今回は、安川グループの環境ビジョン「YASKAWA ECO VISION」と目標「CCE100」の詳細と取組みを紹介します。

※1 CCE100:Contribution to Cool Erth 100

環境ビジョン「YASKAWA ECO VISION」と長期目標

生産活動(グリーンプロセス)における環境負荷は従来以上に低減するとともに当社グループの技術力をもって製品の環境性能を高め、製品(グリーンプロダクツ)により世の中の環境負荷を低減することで更なる貢献を果たします。

気候変動がグローバルで様々な影響を及ぼすことが問題となる中、当社コア技術であるパワー変換技術等を活用した製品を通じたCO₂排出量削減を中心に、多面的な環境活動により持続可能性を追求し、企業価値向上を図ります。



2025年度目標



- 製品を通じた環境負荷低減
CO₂排出量抑制120百万トン^{※2}
- 当社環境製品の社内導入と見える化
- 製品構成材料のリサイクル性向上
- 全製品へのグリーン調達適用



- CO₂排出量10%削減^{※3}
(2030年度目標 15%削減)
- 廃棄物排出量 2018年度以下
- 水の使用・排水の適正管理
- 生産活動での有害物質管理徹底

※2 2016年度以降累計 ※3 2015年度比、売上高原単位

グリーンプロセスとグリーンプロダクツを両輪とした環境経営の推進

CCE100とは?

$$\frac{\text{製品で削減するCO}_2}{\text{自社で排出するCO}_2} \geq 100$$

2025年に
100倍以上の
貢献



分子 製品で削減するCO₂

インバータ機器や再生エネルギー機器は、エネルギーそのものの消費を減らしたり、エネルギーを新たに生むことで、脱炭素化に直接貢献します。

分母 自社で排出するCO₂

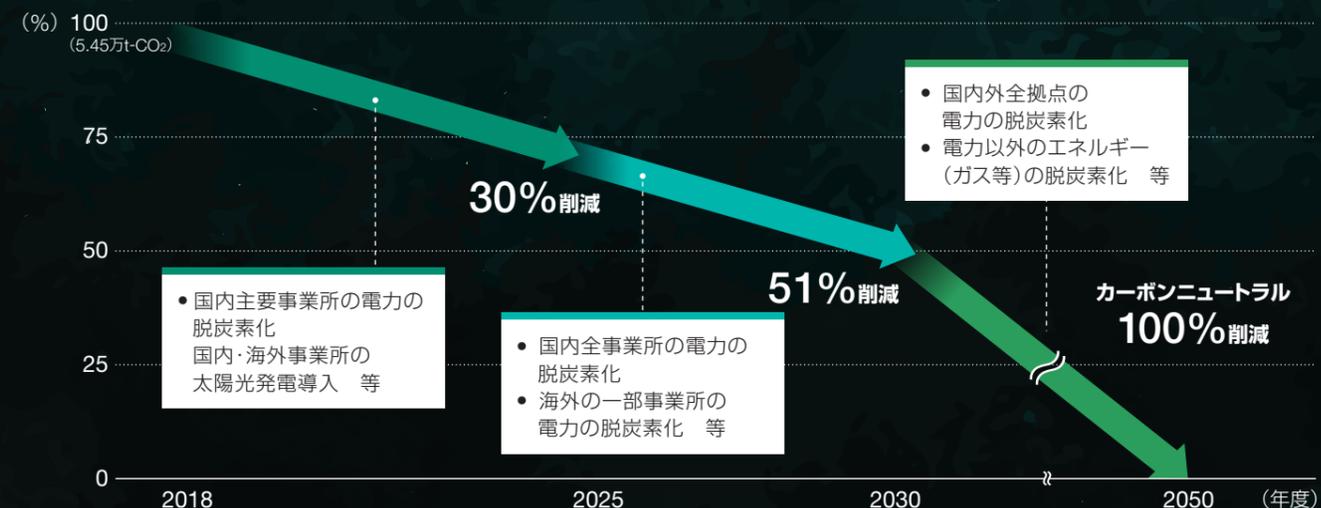
自社製品の技術を積極的に活用し、社内の各事業所に太陽光発電を設置しています。これにより、事業所内で使用する電力を自ら「創る」取組みをしています。それでも足りない部分は、CO₂フリー電力を購入することにより、脱炭素化に貢献しています。

カーボンニュートラル目標 2050 CARBON NEUTRAL CHALLENGE

当社は、2022年5月に、グループの環境ビジョンである「YASKAWA ECO VISION」における2021年に定めた2050年カーボンニュートラル目標を改定し、そのマイルストーンとなる2030年の安川グループのグローバルの事業活動に伴うCO₂^{※4}排出量(スコープ1^{※5}+スコープ2^{※6})の削減目標を2018年比で36%から51%へ引き上げたほか、サブ

ライチェーンの上流および下流における排出量(スコープ3^{※7})の2030年の削減目標を2020年比で15%とする目標を新たに加えました。

今後は、従来の取り組んでいる省エネ推進、太陽光発電設備の導入に加え、電力等の脱炭素化の推進により目標達成に努めます。



※4 二酸化炭素およびその他温室効果ガス(フロン等)を含む
 ※5 スコープ1:主に燃料使用に伴う排出(自社の直接排出)
 ※6 スコープ2:購入した電力・熱の使用に伴う排出(電力会社等による自社の間接排出)
 ※7 スコープ3:スコープ1、スコープ2以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)



太陽光発電による創エネの取組み

当社は八幡西事業所を始め国内各拠点の建屋(屋根部)に太陽光発電を導入し、各事業所内で使用する電力を創る取組みを行っています。

北九州市の八幡西事業所(ロボット村)では、電力由来のCO₂排出量を2021年度にゼロにする取組み「Clean Power

100 Project」を進めてきましたが、1年前倒しで目標を達成しました。

ロボット村で活用されている環境技術については、安川電機みらい館に見学に来られたお客さまに分かりやすく紹介しています。



安川テクノロジーセンタ(YTC)

八幡西事業所(ロボット村) 873kW

太陽光発電設置容量
2021年国内実績 **2.5MW**

中部ロボットセンタ 46kW



関東ロボットセンタ 10kW



入間事業所 220kW



行橋事業所 351kW



中間事業所 1015kW

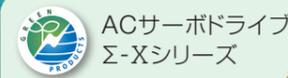
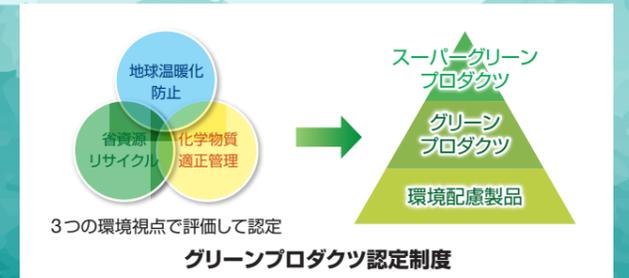


製品・サービスでの環境貢献

安川グループは「YASKAWA ECO VISION」において、技術力をもって製品の環境性能を高め、製品(グリーンプロダクト)により世の中の環境負荷を低減することで更なる貢献を果たすことを掲げています。

そこで、お客さまの生産性・省エネ性を飛躍的に向上させ、世の中の環境負荷を低減するために、グリーンプロダクト認定制度を導入しています。製品による環境貢献度を「地球温暖化防止」「省資源・リサイクル」「化学物質適正管理」の3つの視点で点数評価し、一定の基準を満たす製品をグリーンプロダクト、業界最高水準の環境性能を発揮する製品をスーパーグリーンプロダクトとして認定しています。

2021年度は、4製品を認定し、累計34製品の認定となりました。スーパーグリーンプロダクト認定製品は、省エネ大賞を受賞するなど、外部からの高い評価も得ています。



ACサーボドライブ
Σ-Xシリーズ

受賞
2021年 日刊工業新聞社
第64回十大新製品賞



サーボから始める
デジタルデータソリューション

- ・業界最高のモーション性能
- ・サーボモータやΣ-LINKIIから各種データを収集し、装置の予防保全を実現



ロボット
MOTOMAN-PL190



クラスNo.1の可搬質量で、
省エネ性を向上させた
パレタイジングロボット

- ・食品、飲料関連の箱物・袋物搬送に最適
- ・可搬質量 190kg



ロボット
MOTOMAN-GP4

受賞
2021年 日刊工業新聞社
第51回機械工業デザイン賞



有効動作領域を拡大し、省エネ性を向上させた
多用途適用型ロボット

- ・全軸 IP67 を標準とし、耐環境性を向上
- ・可搬質量 4kg



ロボット
MOTOMAN-PL320



クラスNo.1の可搬質量で、
省エネ性を向上させた
パレタイジングロボット

- ・木材を始めとした重量物搬送に最適
- ・可搬質量 320kg



YASKAWA グリーンプロダクトによる CO₂削減量

安川電機ホームページに、「販売された安川製品のCO₂削減貢献量」を日々算定し、緑化面積として可視化して紹介した動画を掲載しています。詳細は安川電機ホームページの「製品を通じたCO₂削減貢献」ページをご覧ください。

※動画は毎日更新しています。動画に記載のある内容は更新時のものです。

<https://www.yaskawa.co.jp/company/csr/env/co2signage>

